

PHILIPS

Healthcare



ウォッチパット300 患者用簡易取扱説明書

※本書は取扱説明書に代わるものではありません。
必ず添付文書および取扱説明書をご覧ください。

検査を始める前に

- 機器本体を、利き手でない方の手に装着することをお勧めします。
- プローブは親指以外の指に装着できます。指が大きい場合は小指がおすすめです。
- 使用前に、リラックスできる服に着替え、リング、時計、その他の宝石を外します。
- センサを装着する指の爪が短いことを確認し、付け爪、マニキュアは使用しないでください。

注：機器の電源を一度オンにするとオフにすることはできません。

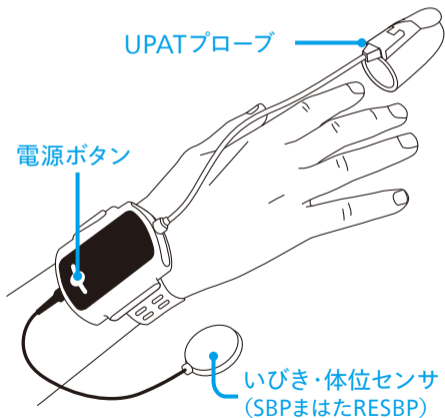
機器の装着が完了し、寝る準備が整ってから電源をオンにしてください。

注：未成年の方が検査をおこなう場合は、大人の監督下で使用してください。

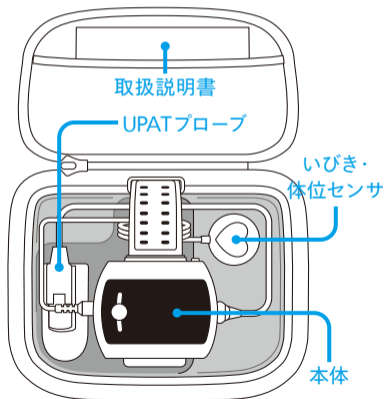
注：本ガイドの画像は左手用です。同様の手順を右手にも適用できます。

1 各部の名称

※すべてのセンサが揃っていることをご確認ください。

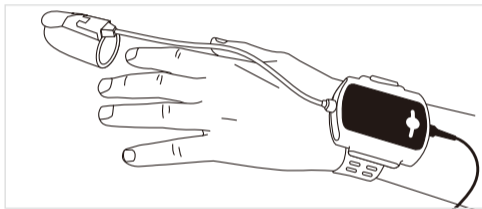


セット収納位置



2 センサ類の装着

ウォッチパットの装着



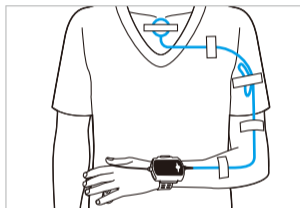
利き手ではない手に機器を装着します。

リストストラップをきつく締めすぎないように注意してください。

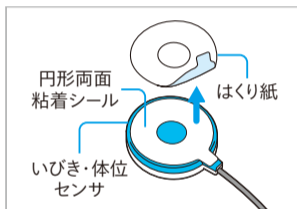
平らな台の上に本体を下向きに置き、手首で軽く押えさると装着しやすくなります。



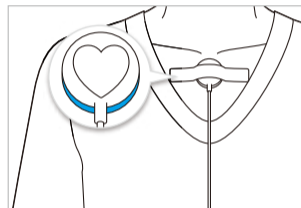
いびき・体位センサの装着



いびき・体位センサのコードを、パジャマの袖口から首の開口部まで通します。



センサ裏の白いはくり紙をはがします。

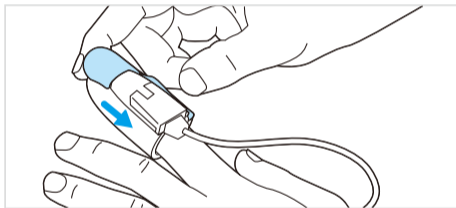


向きに注意して、胸の皮膚に貼り付けます。センサをテープで固定します。

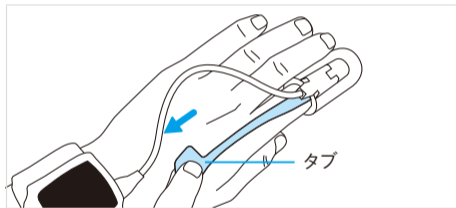
UPATプローブ装着後は検査が終わるまで絶対に取り外さないでください

※取り外すと正しい検査結果を出すことができません／※UPATプローブは再装着することはできません

UPATプローブの装着



センサコードの根元が手の甲側から伸びるように注意します。人差し指をプローブの奥まで差し込みます。



プローブの先端を硬い面（テーブルなど）に押し付けます。TOPと記されたシールを少しずつゆっくりと引き抜きます。

3 測定の開始～終了

測定の開始

右の画面が表示され、測定が開始するまで、真ん中の電源ボタンを強めに、2秒以上押し続けてください。



※電源ボタンと左右ボタンを同時に押すと測定できません。

※電源ボタンが少し凹んだ形状をしている機種もあります。

※**×**マークが表示された場合は、弊社支店までお問い合わせください。

測定の終了

UPATプローブ、センサ類をすべて外した後、リストストラップを外します。

①各部の名称ページの収納図を参照し機器本体、センサ類をキャリングケースに収めます。機器本体の電源は手動で切り替えられませんので電源が入った状態で収納してください。

※ウォッチパットの測定を手動で終了することはできません。約10時間後に自動で電源が切れます。



製造販売業者 **株式会社フィリップス・ジャパン**

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37フィリップスビル

www.philips.co.jp/healthcare

睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の事業所まで

※事業所の連絡先は以下のURLで公開しています

www.philips.co.jp/SRC-Office

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくはお近くの事業所までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

©2022 Koninklijke Philips N.V. PN 1149749/220820 R3-W

販売名：ウォッチパット300 医療機器認証番号：302AFBZX00089000

